

「実践的住民自治」の村づくり

さかえむら
長野県 栄村



道直しの作業風景。村の臨時職員が作業にあたる。



道直しの際には、線形や施工方法など地域の住民が主体的に参加して決定。



田直しを行う際は、設計図は作らず、住民と施工者、村担当者で充分話し合いのうえ実施。

事例の概要

● 栄村は、過疎の村が地域の实情に合った施策を自ら工夫して立ち上げて、実際の事業実施の中に住民が主体的に参加し、「自分たちの地域のことを自分たちが決め、地域の实情にあった政策を実現し、行政の執行過程で住民が直接参加する形を作る」という「実践的住民自治」という考えに基づき村づくりを進めている。人口減少、少子化、高齢化、経済のグローバル化など厳しい現実に直面する中で「行政の執行過程に住民が直接参加する」、「自らの地域のことは自ら決め、地域の实情に合わせた制度を自ら実行する」ことにより、小さくても輝く自治体となるための取り組みを行っている。

● 具体的には、①区画整理事業の一環として、田んぼを自分たちの使いやすいように区画整理する「田直し」、②地区内道路を除雪可能な道路へ改良するための「道直し」、③雪害から住民の暮らしを守る「雪害対策救助員」、④住民パワーで地域の高齢者の介護を行う「げたばきヘルパー」など、行政と住民が一緒になって、幅広い活動を行っている。

評価のポイント

栄村は、「実践的住民自治」という考えに基づき、農家が自ら田んぼを使いやすいように村職員と話し合い、村が直営で区画整理を行う「田直し事業」、道路の線形、土地交渉などを地区の中で調整した後に村に要望を出し、施工方法等の協議に住民が主体的に参加する仕組みを作っている「道直し」、村が豪雪地であることから、冬期間における住民の安全と生活環境の維持向上を図る「雪害対策救助員制度」、村のヘルパー養成講習会等で資格を取得した住民ヘルパーが、山里に点在した集落でも24時間態勢でヘルパーが駆けつけ安否の確認と介護を行う「げたばきヘルパー事業」等を行っている。

また、げたばきヘルパー制度では、居宅介護のウエイトを高めることにより、介護給付費を抑制し、介護保険料を他地域に比べて低く設定することが可能といった効果も生じている。

これらの事業は、山間地、豪雪地、高齢化の進んだ地域が生きる道として考え抜かれたものであり、モデル的かつ先駆的な取り組みとして県内の他地域に広がるなど、他の自治体の施策にも大きな影響を与えている。

行政と住民の協働が重視されて久しいが、栄村が、住民発意の、住民主導による、住民のための事業という特徴を持っている点において、今日における先進性を有していると言える。本事例は、このような点が評価された。



雪害対策救助員が救助世帯の屋根の雪おろしをしている。雪が多い年は、危険で大変な重労働となる。



げたばきヘルパーは、村のデイサービスでも活躍。

長野県 栄村 (さかえむら)



国勢調査人口 (単位:人)

昭和35年	昭和45年	平成7年	平成12年	平成17年
6,361	4,449	2,896	2,638	2,488

人口増減率 (単位:%) 高齢者・若齢者比率(17年) (単位:%)

H17/S35	H17/S45	H12/H7	H17/H12	高齢者比率	41.4
△60.9	△44.1	△8.9	△5.7	若年者比率	10.6

交通のご案内

自動車 上信越自動車道豊田飯山ICから国道117号経由40分

鉄道 長野駅からJR飯山線で森宮野原駅経由で約105分

団体連絡先

栄村 総務課
〒389-2792
長野県下内郡栄村大字北信 3433 番地
TEL. 0269-87-3111
FAX. 0269-87-3083
Eメール: info@vill.sakae.nagano.jp
http://www.vill.sakae.nagano.jp/